

月報 シオン山

2025年5月4日発行 (No416)

日本バプテストシオン山教会

☎803-0846 北九州市小倉北区下道津2-15-21

Tel(093)561-0772 Fax(093)561-0760 E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

.....

【月間聖句】

わたしは世の終わりまで、あなたがたと共にいる。

(マタイによる福音書28章20節b)

シオン山教会の復活 !!

二木榮子

4月20日(日)は今年度のイースターでした。この日は西南女学院中学校・高等学校の一斉教会出席奨励日であり、愛の園保育園・こひつじ保育園教職員の礼拝出席日でもありました。久しぶりに会堂はほほいっばいになり、とても嬉しく思いました。

礼拝後には、ロビーでお茶会があり、前日女性会を中心に作った手作りイースターエッグをはじめ、皆で持ち寄ったお菓子などをいただきながらしばらくの懇談をすることができました。急いで帰られる方は持ち帰っていただきました。

昨年度の活動基本テーマは「語り合い、主にあって共に歩みましょう。一交わりを深める」でした。無牧師の中でしたが、遠路から宣教のご用を引き受けていただいた牧師の先生方と感謝を込めて昼食をいただきながらの懇談が多くありました。また、1月には新春放談会も久しぶりに行うことができました。これらの懇談はコロナ禍以来少なくなっていた教会員の主にある交わりを深め、共に語り合う中から教

会のすばらしさや今後の課題などを見出し、心を一つにすることができました。

3月には大里克夫兄に引き続き、藤田小四郎兄を天にお送りすることになり、寂しさと悲しみの中にあった私たちですが、お二人がどんなに主を愛し、主から愛されていたか、そのご奉仕の姿の裏に主への感謝がどんなに大きかったかを知ることができました。

そのような中に、4月から心待ちにしていた加藤英治牧師はじめご家族をお迎えすることができました。牧師館に灯がともり、会堂や牧師館でお会いすることができます。また、礼拝だけでなく祈祷会などの会合にもご家族揃って参加してくださっています。

加藤牧師の宣教の力強さは驚くばかりです。また、み言葉を分かり易く解いてくださり、心に沁み通ります。待子さんの明るさ、心豊かさにはこちらまで明るくさせていただいています。

シオン山教会は100周年を無事に終えて少しほっとしていたところに、伊藤光雄牧師の辞任により無牧師状態になりました。加藤牧師をお迎えするまでの2年間は教会にとって、大変厳しいものでした。まず、宣教者を決めるのに大変な思いをしました。教会員が少なくなり自力では無理でありましたが、地方連合他多くの牧師の先生方のご協力と執事をはじめ役員の方々のご奉仕のもと礼拝をずっと続けることができましたのは教会員の皆様のお祈りと主のお守りと導きのおかげと心から感謝しています。

その他会堂、教育館、牧師館の管理、内外との対応、葬儀の対応など多くの目に見えない大切な仕事を代表執事、総務部をはじめとする各部が担ってくださいました。ありがとうございます。これらの働きをこれまで牧師や役員の方々も担ってくださっていたことを改めて知ることができ感謝で一杯です。

加藤牧師をお迎えして改めて教会の働きを考え直し、牧師と共に喜んで主の業を担う者でありたいと思います。これからのシオン山教会が整えられ、安心して教会に集うことができ、共に語り合い主の恵みに感謝しつつ、教会が生き生きと活動する姿を主はきっと喜んでくださることでしょう。

イエスさまの復活の喜びを噛み締め、心から感謝しているこの時、シオン山教会も元気に復活し、皆が喜んで参加し、主の愛を共に語り合う毎日でありたいと願い、祈っています。

わたしたちもキリストの復活の姿にあやかりましょう。

「キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、私たちも新しい命に生きるためなのです。もし、わたしたちがキリストと一体になってその死の姿にあやかるならば、その復活の姿にもあやかれるでしょう。」